

2学期始業式 校長講話（9月1日）

まず、みなさんにお礼を言いたいと思います。

1学期の終業式に、「夏休み中に大きなけがや事故もなく、また大切な命を落とすことないよう過ごしてください。そして、2学期の始業式に元気な顔を見せてください」とお願いをしました。そして今、こうして誰一人として命を落とすことなく顔をそろえてくれました。とてもうれしく思います。ありがとう。みなさんは当たり前だと思うかもしれませんが、休み中に水の事故や交通事故などで皆さんと同じ中学生が、またそれより若い小学生が亡くなったというニュースが毎日のように流れました。近いところでは一宮市の小学生が岐阜県の川で家の人の前で流されたということもありました。そう考えると、こうしていることがすごいことなんだと思います。また、それに加えて、先ほど生徒指導の山端先生もおっしゃいましたが、とても落ち着いた雰囲気、落ち着いた姿勢で臨んでいること、話を聞いていることもすばらしいと思います。今日から始まる2学期が、なにかすばらしい学期になるような、そんな予感がします。

その2学期ですが、みなさんもよく知っているように、3つある学期の中で一番長い学期です。長いだけでなく、さまざまな活動、行事があります。小学校でいう運動会と学習発表会をくっつけた「学校祭」がもう今月あります。夏休み中に3年生やリーダーがその準備をしてくれました。きっとよいパフォーマンスを、合唱を、演技を見せてくれることと期待しています。各学年もいくつかの行事があります。2年生は広島へ出かけ、平和について考える研修があります。同じ時期に1年生は福祉実践教室をします。3年生は、大きな行事こそありませんが、進路に向けてじっくりと考え、先を見据える大切な学期です。

そんな活動の中で、意識してほしいことを話します。全体で何かをしようとした時に、「俺はこれがしたいんだけど」「私はやりたくない」と言って一人一人が好き勝手なことを始めたらどうなるでしょうか。ばらばらになりよいものにはなりません。自由とか個性を否定するつもりはありませんが、全体で何かをしようとする時はそれを我慢したり抑えたりすることは必要だと思います。もちろん、個性は大事です。先ほど表彰した子たちを見てください。陸上やテニスでがんばった子、情報処理という得意分野ですばらしい成績を収めた子、理科に関するテーマを自分で決めそれについてこつこつとまとめ上げた子など、まさにすばらしい個性だと思います。ぜひ、それはいろいろな場面でどんどん発揮して伸ばして行ってほしいと思います。全体に合わせる部分と自分らしさを発揮する部分、それらを切り替えながら取り組む2学期に期待しています。